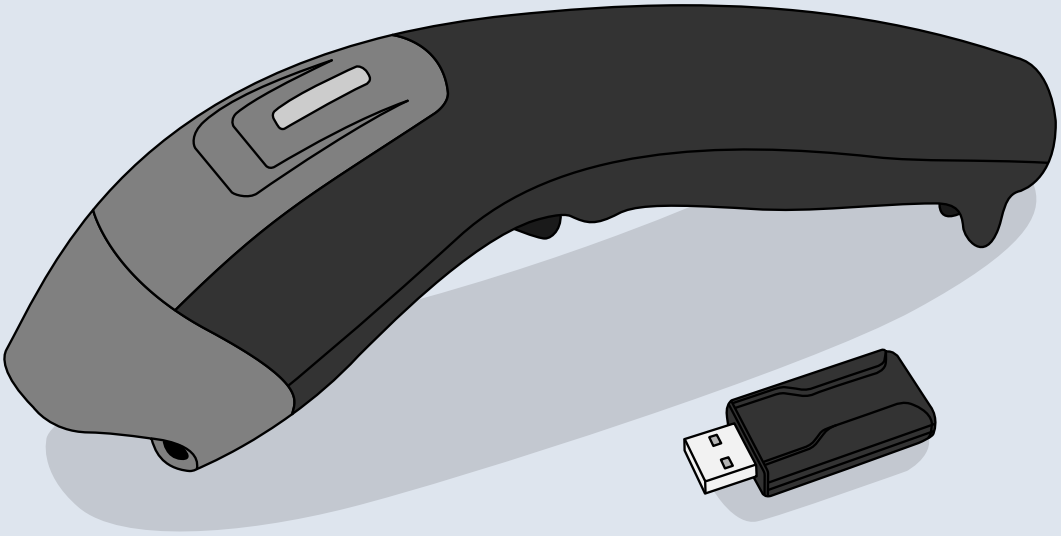
FKsystem



KC-5200BT

詳細設定マニュアル

Bluetooth 1Dバーコードリーダー

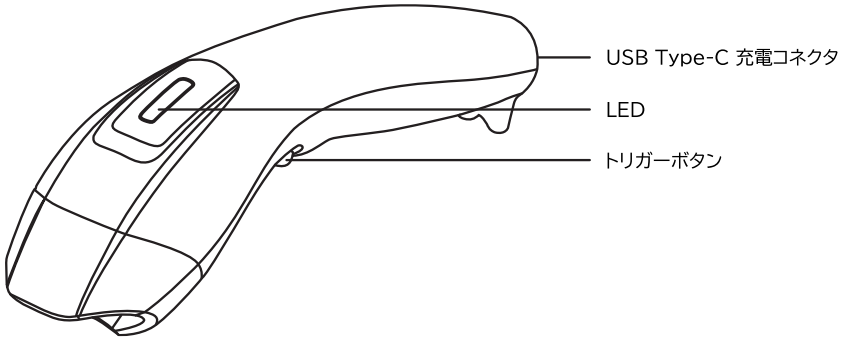
Chapter 1 – 各部名称と機能 4
1.1 各部の名称 4
1.2 製品セット内容 4
1.3 インジケーターLED とビープ音 5
Chapter 2 – 出荷時の設定に戻す 6
Chapter 3 – 無線ユニットの設定 7
3.1 無線ユニットの設定について 7
3.2 無線ユニットの設定初期化 7
3.3 キーボード言語 7
3.4 USB ドングルとペアリングする方法 8
3.5 USB ドングルのインターフェース設定 8
3.6 Bluetooth で端末とペアリングする方法 9
3.7 Bluetooth－SPP（スレーブモード）で端末とペアリングする方法 10
3.8 トリガーボタンファンクション 11
3.9 デバイス名の変更 11
3.10 iOS キーボード表示 11
3.11 USB データ転送速度 12
3.12 Bluetooth HID モードの文字間遅延設定 13
3.13 メモリーモード 13
3.14 自動電源 OFF の時間設定 14
3.15 バイブレーション設定 14
3.16 ビープ音設定 14
3.17 大文字/小文字の変換 14
Chapter 4 – システム設定 15
4.1 設定の手順について 15
4.2 設定初期化 15
4.3 ファームウェア情報 15
4.4 改行コード 16
4.5 照合チェック 16
4.6 白黒反転バーコード 16
Chapter 5 – バーコードプログラムの設定 17
5.1 UPC-A 17
5.2 UPC-E 18
5.3 EAN-13 20
5.4 EAN-8 21
5.5 Code39 23
5.6 NW-7 / Codabar 25
5.7 Code93 27
5.8 Code128 28
5.9 Interleaved 2 of 5（ITF） 29
5.10 Industrial 2 of 5 30

5.11 Matrix 2 of 5 31
5.12 MSI / Plessey 32
5.13 Code32 33
5.14 Code11 34
5.15 Telepen 35
5.16 GS1 Databar 36
Chapter 6 – 送信データの編集 37
6.1 データフォーマット 37
6.2 Code ID の送信 37
6.3 Code ID の変更 38
6.4 プレフィックス / サフィックスへの文字付加の設定 39
6.5 文字の挿入 40
ASCII コード 42
16 進数バーコード 44
困ったときは 45

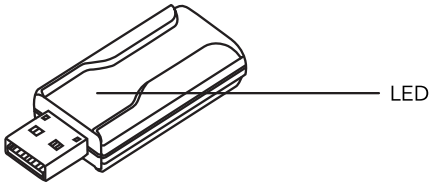
Chapter 1 – 各部名称と機能

1.1　各部の名称

■スキャナー



■USB ドングル



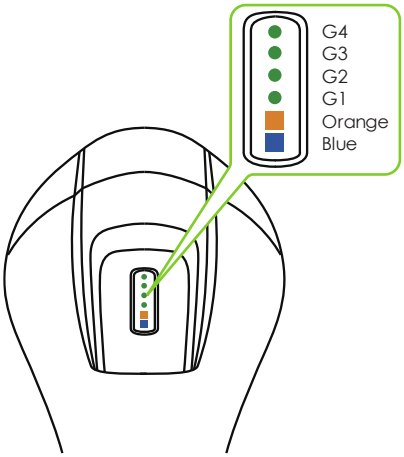
1.2　製品セット内容

・スキャナー本体
・USB ドングル
・充電用 USB Type-C ケーブル
・電源アダプター（5V/1A）
・クイックスタートガイド

1.3　インジケーターLED とビープ音

電力レベル	LED1(G1)	LED2(G2)	LED3(G3)	LED4(G4)
80～100%	ON	ON	ON	ON
60～80%	ON	ON	ON	OFF
40～60%	ON	ON	OFF	OFF
20～40%	ON	OFF	OFF	OFF
20%未満	点滅	OFF	OFF	OFF

充電レベル	LED1(G1)	LED2(G2)	LED3(G3)	LED4(G4)
80～100%	ON	ON	ON	ON
60～80%	ON	ON	ON	点滅
40～60%	ON	ON	点滅	OFF
20～40%	ON	点滅	OFF	OFF
20%未満	点滅	OFF	OFF	OFF



Blue	すばやく点滅	ペアリングモード
Blue	ゆっくり点滅	ペアリング解除
Blue	点灯	ペアリング接続完了
Orange	点滅×1 ビープ音×1	スキャン成功
Orange	ビープ音と点滅 ビープ音×4 が３回	バッテリー残量：少
Orange	点滅×2 ビープ音×2	スキャン成功（メモリーモード）
Orange	点滅×4 ビープ音×4	スキャン範囲外
Orange	点滅×5 ビープ音×5	メモリーが満杯

Chapter 2 – 出荷時の設定に戻す

①～⑤を順番にスキャンしてください。

① 設定開始

② 本体設定初期化

③ 設定終了

④ Bluetooth設定初期化

※ペアリング情報も初期化されますので
再ペアリングが必要です

⑤ キーボード言語：Japan

Chapter 3 – 無線ユニットの設定

3.1　無線ユニットの設定について

・この章「Chapter 3 – 無線ユニットの設定」に記載する設定項目はすべて、設定手順において
　「設定開始」「設定終了」のバーコードスキャンは不要です。
　設定バーコードのスキャンのみで設定可能です。

3.2　無線ユニットの設定初期化

※この設定で初期化されるのは、「Chapter 3 – 無線ユニットの設定」に記載する設定項目のみです。
※ペアリング情報も初期化されますので、初期化後は再度ペアリングを行ってください。

無線ユニットの設定初期化

3.3　キーボード言語

Japan

***US**

3.4　USB ドングルとペアリングする方法

[ペアリング手順]

1. USB ドングルはパソコンから取り外しておいてください。
2. 以下のペアリングバーコードをスキャンします。

USB ドングル – ペアリング

3. USB ドングルをパソコンに接続します。
4. USB ドングルとのペアリングが成功すると、スキャナーからビープ音が鳴り
   青色 LED が点滅 → 点灯に変わります。

3.5　USB ドングルのインターフェース設定

＊USB キーボード

USB-COM

3.6　Bluetooth で端末とペアリングする方法

パソコンやモバイル端末と Bluetooth HID でペアリングして使用する場合は、以下の 1～4 の手順でペアリングを行います。

※同じスキャナー・同じ端末で以前ペアリングしていた場合は、端末の Bluetooth 設定からスキャナーのデバイス情報を削除してからペアリングを行ってください。

1. ペアリング情報を消去する

2. インターフェースを選択

HID モード

3. ペアリングモード

4. デバイスの Bluetooth 設定を開き、スキャナーを接続します。
ペアリングが成功するとビープ音が鳴り、青色 LED が点滅→点灯に変わります。

3.7　Bluetooth－SPP（スレーブモード）で端末とペアリングする方法

※本製品は SPP のマスターモードは非対応です。

Windows 端末と SPP のスレーブモードでペアリングして使用する場合は、以下の 1～6 の手順でペアリング・COM 接続を行います。

1. ペアリング情報を消去する

2. インターフェースを選択

SPP スレーブモード

3. ペアリングモード

4. デバイスの Bluetooth 設定を開き、「デバイスの追加」からスキャナーを接続します。

5. その他の Bluetooth オプション ＞ 「COM ポート」タブ
   スキャナーのデバイス名で「発信」のポート番号を確認します。

6. シリアル通信ソフトにて確認したポート番号で接続します。
   正常に接続できるとビープ音が鳴り、青色 LED が点滅→点灯に変わります。

3.8　トリガーボタンファンクション

トリガーボタン長押し操作により、端末との Bluetooth ペアリングを行うことができます。
ただし、USB ドングルとのペアリングはトリガー操作では行えません。

[ペアリングモードにする]
1. トリガーボタンを 8 秒間長押しします（長いビープ音が 1 回鳴ります）
2. トリガーボタンを 1 回押します（ビープ音が 1 回鳴ります）
3. 青色 LED がすばやく点滅して、ペアリングモードになります

[ペアリングを中止する]
トリガーボタンを 2 回押します（ビープ音が 2 回鳴ります）

3.9　デバイス名の変更

QR コードか Code128 で下記の値でバーコードを作成して、スキャンします。

%%BT_NAME=*****

“*****” の部分がデバイス名となります。半角英数字でデバイス名を設定してください。

3.10　iOS キーボード表示

iOS キーボード ON/OFF

この設定バーコードをスキャンするたびに
キーボードの表示/非表示が切り替わります。

トリガー操作で表示　有効/無効

トリガーボタンを 2 回押すことで
キーボードの表示/非表示を操作できます。
この設定バーコードで機能の有効/無効を
切り替えます。

3.11　USB データ転送速度

USB キーボードのデータ転送速度を設定します。数値が小さいほどデータ転送速度が速くなります。
この設定は USB ドングル：USB キーボードのインターフェースでのみ有効です。

***1ms**

2ms

3ms

4ms

5ms

6ms

7ms

8ms

9ms

10ms

3.12　Bluetooth HID モードの文字間遅延設定

送信中のデータ損失を回避するために、適した文字間遅延を設定します。
この設定は Bluetooth HID モードでのみ有効です。

***1ms**　**5ms**　**15ms**

25ms　**35ms**　**45ms**

3.13　メモリーモード

メモリーモードにすると、スキャンしたデータはすべてスキャナーのメモリー内に保存されます。
保存されたデータの出力は、「保存したデータを送信」のバーコードをスキャンして行います。

メモリーモードを開始　**メモリーモードを終了**

保存したデータを送信　**保存データ数を送信**　**データを全削除**

3.14　自動電源 OFF の時間設定

2minutes

*5minutes

10minutes

20minutes

自動電源 OFF 無効

電源 OFF

3.15　バイブレーション設定

有効

*無効

3.16　ビープ音設定

Low

Medium

High

OFF

3.17　大文字/小文字の変換

*変換しない

すべて大文字に変換

すべて小文字に変換

Chapter 4 – システム設定

4.1　設定の手順について

Chapter 4 以降の設定については、基本的に以下の手順で設定を行います。

設定開始 → 設定バーコード → 設定終了

16 進数バーコードを使用して設定する場合は以下の手順で設定を行います。

設定開始 → 設定バーコード → １６進数バーコード → 設定保存 → 設定終了

4.2　設定初期化

設定初期化

4.3　ファームウェア情報

※設定開始/設定終了は不要です。

本体ファームウェア情報

Bluetooth ファームウェア情報

4.4　改行コード

None　　*CR+LF　　CR

LF　　Tab

4.5　照合チェック

*1 回 読み込み　　2 回 読み込み

4.6　白黒反転バーコード

有効　　*無効

Chapter 5 – バーコードプログラムの設定

5.1　UPC-A

UPC-A の読み取り	*有効
	無効
UPC-A を EAN-13 に変換	有効
	*無効
UPC-A チェックデジットを送信する	*有効
	無効
UPC-A 先頭が 0 の場合 0 を削除	有効
	*無効
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0D）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0D）

UPC-A アドオン設定	***無効**
	アドオン 2 桁のみ　有効
	アドオン 5 桁のみ　有効
	アドオン 2 桁または 5 桁　有効
	自動識別付加

5.2　UPC-E

UPC-E の読み取り	***有効**
	無効
UPC-E を UPC-A に変換	**有効**
	***無効**

UPC-E チェックデジットを送信する	***有効**
	無効
UPC-E 先頭が 0 の場合 0 を削除	**有効**
	***無効**
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-08）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-08）
UPC-E アドオン設定	***無効**
	アドオン 2 桁のみ　有効
	アドオン 5 桁のみ　有効
	アドオン 2 桁または 5 桁　有効
	自動識別付加

5.3　EAN-13

EAN-13 の読み取り	***有効**
	無効
EAN-13 チェックデジットを送信する	***有効**
	無効
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0D）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0D）
EAN-13 アドオン設定	***無効**
	アドオン 2 桁のみ　有効
	アドオン 5 桁のみ　有効
	アドオン 2 桁または 5 桁　有効
	自動識別付加

EAN-13 ISBN/ISSN 変換設定	有効
	*無効

5.4　EAN-8

EAN-8 の読み取り	*有効
	無効
EAN-8 チェックデジットを送信する	*有効
	無効
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-08）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-08）

EAN-8 アドオン設定	***無効**
	アドオン 2 桁のみ　有効
	アドオン 5 桁のみ　有効
	アドオン 2 桁または 5 桁　有効
	自動識別付加

5.5　Code39

Code39 の読み取り	*有効
	無効
Code39 チェックデジットを計算する	有効
	*無効
Code39 チェックデジットを送信する	*有効
	無効
Code39 連結する	有効
	*無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）
最大桁数設定 （初期値：32）	スキャン後 16 進数入力（00-32）

Code39 のフォーマット	***スタンダード Code39**
	Full ASCII Code39
Code39 スタートストップキャラクタを送信する	**有効**
	***無効**
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）

5.6　NW-7 / Codabar

NW-7 / Codabar の読み取り	*有効
	無効
NW-7 / Codabar チェックデジットを計算する	*有効
	無効
NW-7 / Codabar チェックデジットを送信する	有効
	*無効
NW-7 / Codabar 連結する	有効
	*無効
最小桁数設定 （初期値：05）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）
最大桁数設定 （初期値：3C）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）

NW-7 / Codabar スタートストップキャラクタのタイプ	***ABCD/ABCD**
	abcd/abcd
	abcd/tn*e
NW-7 / Codabar スタートストップキャラクタを送信する	**有効**
	***無効**
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）

5.7　Code93

Code93 の読み取り	*有効
	無効
Code93 チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Code93 チェックデジットを送信する	有効
	*無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
最大桁数設定 （初期値：50）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）

5.8　Code128

Code128 の読み取り	*有効
	無効
Code128 チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Code128 チェックデジットを送信する	有効
	*無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7F）
最大桁数設定 （初期値：7F）	スキャン後 16 進数入力（00-7F）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7F）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7F）

5.9　Interleaved 2 of 5（ITF）

Interleaved 2 of 5（ITF）の読み取り	有効
	*無効
Interleaved 2 of 5（ITF） チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Interleaved 2 of 5（ITF） チェックデジットを送信する	*有効
	無効
最小桁数設定 （初期値：04）	スキャン後 16 進数入力（04-7F）
最大桁数設定 （初期値：7F）	スキャン後 16 進数入力（00-7F）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-7E）

5.10　Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 の読み取り	有効
	*無効
Industrial 2 of 5 チェックデジットを計算する	有効
	*無効
Industrial 2 of 5 チェックデジットを送信する	*有効
	無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）
最大桁数設定 （初期値：32）	スキャン後 16 進数入力（00-32）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-32）

5.11　Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 の読み取り	有効
	*無効
Matrix 2 of 5 チェックデジットを計算する	有効
	*無効
Matrix 2 of 5 チェックデジットを送信する	*有効
	無効
最小桁数設定 （初期値：0B）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
最大桁数設定 （初期値：50）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）

5.12　MSI / Plessey

MSI / Plessey の読み取り	有効
	*無効
MSI / Plessey チェックデジットを計算する	*無効
	MOD 10
	MOD 10/10
	MOS 11/10
MSI / Plessey チェックデジットを送信する	*有効
	無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）
最大桁数設定 （初期値：3C）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-3C）

5.13　Code32

Code32 の読み取り	有効
	*無効
Code32 チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Code32 チェックデジットを送信する	*有効
	無効
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0A）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-0A）

5.14　Code11

Code11 の読み取り	有効
	*無効
Code11 チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Code11 チェックデジットを送信する	有効
	*無効
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
最大桁数設定 （初期値：50）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-50）

5.15　Telepen

Telepen の読み取り	有効
	*無効
Telepen チェックデジットを計算する	*有効
	無効
Telepen チェックデジットを送信する	有効
	*無効
Telepen データフォーマット	Numnic のみ
	*Full ASCII
最小桁数設定 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-40）
最大桁数設定 （初期値：40）	スキャン後 16 進数入力（00-40）
先頭から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-40）
末尾から指定した桁数を削除 （初期値：00）	スキャン後 16 進数入力（00-40）

5.16　GS1 Databar

GS1 Databar の読み取り	有効 *無効
GS1 Databar Limited の読み取り	有効 *無効
GS1 Databar Expanded の読み取り	有効 *無効
チェックデジットを送信する	有効 *無効
アプリケーション ID を送信する	有効 *無効

設定開始　　設定終了

Chapter 6 – 送信データの編集

6.1　データフォーマット

プレフィックス	Code ID	バーコードデータ	サフィックス

6.2　Code ID の送信

有効　　*無効

コード規格	ID	コード規格	ID
UPC-A	F	Interleaved 2 of 5	N
UPC-E	G	Industrial 2 of 5	O
EAN-13	H	Matrix 2 of 5	P
EAN-8	I	MSI/Plessey	R
Code39	J	Code32	S
NW-7/Codabar	K	Code11	T
Code93	L	Telepen	V
Code128	M		

6.3　Code ID の変更

アスキーテーブルの 20～7E の文字（１文字）を設定します。

[設定手順]

設定開始 → コード種選択 → １６進数バーコード → 設定保存 → 設定終了

[Code ID 変更のコード種選択]

UPC-A　UPC-E　EAN-13

EAN-8　Code39　NW-7/Codabar

Code93　Code128　Interleaved 2 of 5

Industrial 2 of 5　Matrix 2 of 5　MSI/Plessey

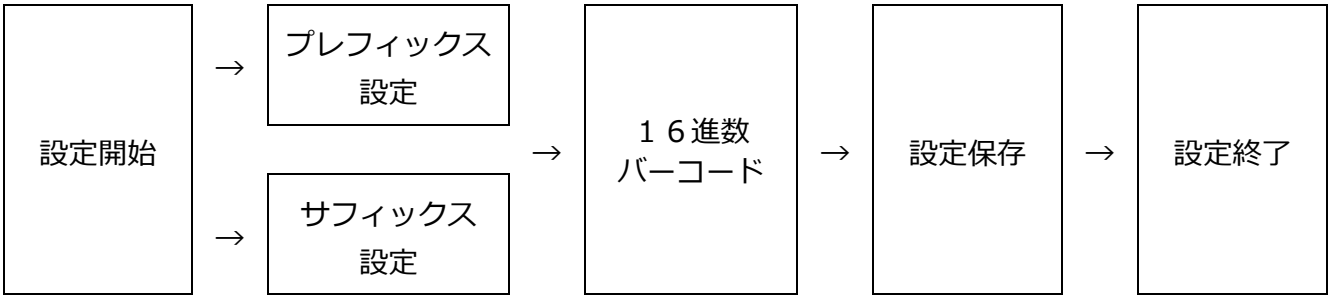
Code32　Code11　Telepen

6.4　プレフィックス / サフィックスへの文字付加の設定

プレフィックスとサフィックスに、それぞれ最大 10 文字まで文字を付加できます。

プレフィックス設定　　サフィックス設定

[設定手順]



[設定例]

プレフィックスに##を付加する場合

1. 「設定開始」をスキャン
2. 「プレフィックス設定」をスキャン
3. ASCII コードを参照して、16 進数コード「2」「3」「2」「3」をスキャン
4. 「設定保存」をスキャン
5. 「設定終了」をスキャン

6.5　文字の挿入

データの任意の箇所に、各グループ最大 10 文字まで文字を挿入できます。
２つのグループにそれぞれ挿入したい文字を設定することができます。

ただし以下の設定はできません。

① すべてのバーコード種に文字を挿入する
② 1 つのバーコード種に 2 つのグループを挿入する
（例：Code39 にグループ 1 とグループ 2 を挿入することはできません）

[設定手順の概要]

1. 挿入する文字を設定
2. 挿入する文字の配置位置を設定
3. どのバーコード種に適用するかを設定

[設定例]

Code39 のバーコード「123456」の 3 文字目に@@を挿入し、「12@@3456」にする場合

【挿入する文字を設定】
1. 「設定開始」をスキャン
2. 「グループ 1 挿入文字」をスキャン
3. ASCII コードを参照して、16 進数コード「4」「0」「4」「0」をスキャン
4. 「設定保存」をスキャン
5. 「設定終了」をスキャン

【挿入する文字の配置位置を設定】
1. 「設定開始」をスキャン
2. 「グループ 1 配置位置」をスキャン
3. 16 進数コード「0」「3」をスキャン
4. 「設定保存」をスキャン
5. 「設定終了」をスキャン

【どのバーコード種に適用するかを設定】
1. 「設定開始」をスキャン
2. “文字挿入のコード種選択”から Code39 をスキャン
3. グループ 1 を挿入するので 16 進数コード「0」「1」をスキャン
4. 「設定保存」をスキャン
5. 「設定終了」をスキャン

設定開始

設定終了

グループ挿入文字 （初期値：00）	グループ 1 挿入文字
	グループ 2 挿入文字
グループ配置位置 （初期値：00）	グループ 1 配置位置
	グループ 2 配置位置

[文字挿入のコード種選択]

UPC-A　UPC-E　EAN-13

EAN-8　Code39　NW-7/Codabar

Code93　Code128　Interleaved 2 of 5

Industrial 2 of 5　Matrix 2 of 5　MSI/Plessey

Code32　Code11　Telepen

ASCII コード

10 進数	16 進数	character
0	00	NUL
1	01	SOH
2	02	STX
3	03	ETX
4	04	EOT
5	05	ENQ
6	06	ACK
7	07	BEL
8	08	BS
9	09	HT
10	0A	LF
11	0B	VT
12	0C	FF
13	0D	CR
14	0E	SO
15	0F	SI
16	10	DLE
17	11	DC1
18	12	DC2
19	13	DC3
20	14	DC4
21	15	NAK
22	16	SYN
23	17	ETB
24	18	CAN
25	19	EM
26	1A	SUB
27	1B	ESC
28	1C	FS
29	1D	GS
30	1E	RS
31	1F	US

10 進数	16 進数	character
32	20	SP
33	21	!
34	22	“
35	23	#
36	24	$
37	25	%
38	26	&
39	27	‘
40	28	(
41	29	)
42	2A	*
43	2B	+
44	2C	,
45	2D	-
46	2E	.
47	2F	/
48	30	0
49	31	1
50	32	2
51	33	3
52	34	4
53	35	5
54	36	6
55	37	7
56	38	8
57	39	9
58	3A	:
59	3B	;
60	3C	<
61	3D	=
62	3E	>
63	3F	?

10 進数	16 進数	character
64	40	@
65	41	A
66	42	B
67	43	C
68	44	D
69	45	E
70	46	F
71	47	G
72	48	H
73	49	I
74	4A	J
75	4B	K
76	4C	L
77	4D	M
78	4E	N
79	4F	O
80	50	P
81	51	Q
82	52	R
83	53	S
84	54	T
85	55	U
86	56	V
87	57	W
88	58	X
89	59	Y
90	5A	Z
91	5B	[
92	5C	¥
93	5D	]
94	5E	^
95	5F	_

10 進数	16 進数	character
96	60	`
97	61	a
98	62	b
99	63	c
100	64	d
101	65	e
102	66	f
103	67	g
104	68	h
105	69	i
106	6A	j
107	6B	k
108	6C	l
109	6D	m
110	6E	n
111	6F	o
112	70	p
113	71	q
114	72	r
115	73	s
116	74	t
117	75	u
118	76	v
119	77	w
120	78	x
121	79	y
122	7A	z
123	7B	{
124	7C	|
125	7D	}
126	7E	~
127	7F	DEL

設定開始

設定終了

16 進数バーコード

1

2

3

4

5

6

7

8

9

0

A

B

C

D

E

F

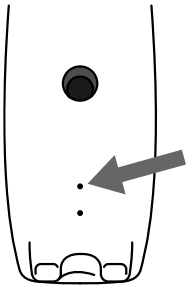
設定保存

困ったときは

●充電は問題なくされているのに、トリガーボタンを押しても赤い光が出ない

●赤い光が出たままになって、バーコードの読み取りもできない。

⇒ スキャナーがフリーズしている可能性があります。
下記の方法で再起動させてください。



スキャナーの下部に上下に 2 つ穴があります。
上の穴を細いもので軽く押してください。
（中でボタンが押されるような感覚があります）

スキャナーの電源が OFF になりますので、
トリガーボタンを押して再起動させます。

●Windows11 のメモ帳で正しく出力されない

⇒ Windows11 の OS 標準メモ帳アプリの仕様変更の影響により、データが欠けるなど
正しい出力結果を得られません。別のテキストエディタにてお試しください。